環境活動レポート

この星の未来のために

資源循環都市の実現に向かって

2015年度（1月1日～12月31日）版

2016年 4月 1日発行

株式会社 環境システムサービス

JTCCM QSCA RQ 1881
JAB CM015
ISO 9001:2008
エコアクション21 認証・登録番号0000809

本　　社　東京都八王子市横川町 1076
〒193-0823　TEL 042(625)8120
神奈川支店　神奈川県相模原市緑区田名 2250-1
〒252-0124　TEL 042(625)0888
町田営業所　東京都町田市下小山田町 2567
〒194-0202　TEL 042(798)0701
厚木営業所　神奈川県厚木市及川 650-1
〒243-0212　TEL 046(243)6011

http://www.kssjapan.com

目　次

会社概要 3

会社案内 4

保有許可一覧 5

実施体制 7

保有車輌台数 8

保有車輌 9

環境方針 10

収集運搬業のLCA（ライフサイクルアセスメント） 11

環境目標 12

環境実績 14

環境活動取組み評価 16

次年度取組み目標 17

関連法規の違反、訴訟 18

経営者による全体評価 19

株式会社　環境システムサービスの概要

事業の概要

（1）　事業者名及び代表者名・所在地

株式会社　環境システムサービス

代表取締役　加藤　美智

○本社　（産業廃棄物保管積替施設）

〒193-0823　東京都八王子市横川町1076

TEL　042-625-8120　　FAX　042-625-8092

○神奈川支店　（産業廃棄物保管積替施設）

〒　252-0124　神奈川県相模原市緑区田名2250-1

TEL　042-761-0888　　FAX　042-761-0046

○町田営業所

〒　194-0202　東京都町田市下小山田町2567

TEL　042-798-0701　　FAX　042-798-0701

○厚木営業所

〒　243-0212　神奈川県厚木市及川650-1

TEL　046-243-6011　　FAX　046-243-6022

寄居作業所

〒　243-0213　埼玉県大里郡寄居町大字三ヶ山313

ｵﾘｯｸｽ資源循環㈱ﾘｻｲｸﾙ施設内

＊対象先は○印

（2）　環境管理責任者

総務部次長　浅野　三郎

（3）　事業の規模

主　な　事　業：一般廃棄物・産業廃棄物(積替保管含む)収集運搬

工場内排水処理施設等の清掃

特別管理産業廃棄物収集運搬

建築物排水管内高圧洗浄清掃

再資源・ﾘｻｲｸﾙに関する業務

貯水槽・ﾋﾞﾙﾋﾟｯﾄ・ｸﾞﾘｽﾄﾗｯﾌﾟ等の清掃

浄化槽清掃及び維持管理

建物清掃・道路・公園・池・排水槽等の清掃

公共下水道管路内清掃・TVｶﾒﾗ調査

一般貨物自動車運送業務

資　本　金：10百万円

従　業　員　数：141人　　※エコアクション対象人数　104人

売　上　高

年度	34期 2012/7～2013/6	35期 2013/7～2014/6	36期 2014/7～2015/6
金額	1,308　百万円	1,478　百万円	1,592　百万円
収集運搬量	2013/1～12	2014/1～12	2015/1～12
	85,629 t	84,066 t	75,983 t

保管積替面積（本社）1,204㎡　　保管量 24㎥（8㎥ｺﾝﾃﾅ3基）　　最大保管高 1.1m

（神奈川支店）1,517.29㎡　　保管量 470㎥　　最大保管高 2.75m

連絡先　〒193－0823　東京都八王子市横川町　1076

電話：　042－625－8120　FAX　:042－625－8092　　小井川・平岡

会　社　概　要

安心・信頼の証
ISO　9001 2008　登録証

商　　号　株式会社環境システムサービス　　代表取締役　加藤　美智
設　　立　昭和55年3月26日　　資本金 10,000千円
所 在 地　本社（一般廃棄物及び産業廃棄物保管積替施設）
〒 193-0823　東京都八王子市横川町1076番地
TEL　042-625-8120　　FAX　042-625-8092
神奈川支店（産業廃棄物保管積替施設）
〒 252-0124　神奈川県相模原市緑区田名2250-1
TEL　042-761-0888　　FAX　042-761-0046
町田営業所
〒 194-0202　東京都町田市下小山田町2567
TEL　042-798-0701　　FAX　042-798-0701
厚木営業所
〒 243-0212　神奈川県厚木市及川650-1
TEL　046-243-6011　　FAX　046-243-6022
社　　是　環境保全事業で地域社会に貢献
事業内容　一般廃棄物・産業廃棄物(積替保管含む)収集運搬
特別管理産業廃棄物収集運搬
再資源・リサイクルに関する業務
浄化槽清掃及び維持管理
公共下水道管路内清掃・TVカメラ調査
工場内排水処理施設等の清掃
建築物排水管内高圧洗浄清掃
貯水槽・ビルピット・グリストラップ等の清掃
建物清掃・道路・公園・池・排水槽等の清掃
一般貨物自動車運送業務

沿　　革

昭和 55年　3月　㈱加藤商事(本社狛江市)の八王子支店及び神奈川営業所を分離独立し
㈱環境システムサービス(本社八王子市)を資本金600万円をもって設立
昭和 56年　7月　有限会社相模プラントサービス(中間処理・最終処分)と業務提携する
平成　5年　6月　資本金を1,000万円に増資
平成　9年　7月　一般貨物運送事業許可取得
平成 13年　3月　特定廃家電指定引取場所の認可取得
平成 14年　7月　有限会社相模プラントサービスの設備及び事業を譲受し神奈川支店を開設、産業廃棄物保管積替施設の許可を相模原市より取得
平成17年　6月　(財)建材試験センターより　ISO 9001:2000　品質マネジメントシステムを取得
平成18年　6月　(財)地球環境戦略研究機関よりエコアクション21を取得
平成20年　4月　町田営業所を開設
平成22年　4月　厚木営業所を現在地に移転設置

主　要　取　引　先

八王子・町田市等東京多摩地域各市町村
東京都下水道局、東京都水道局、東京動物園協会
相模原市役所、厚木市役所、神奈川県企業庁
日野自動車、神奈川中央交通、中村屋他

取　引　金　融　機　関

日本政策金融公庫　　商工組合中央金庫
みずほ銀行 八王子支店　三菱東京UFJ銀行 調布南支店
多摩信用金庫　　青梅信用金庫

【保有許可一覧】

株式会社環境システムサービス

産業廃棄物収集運搬業						許可品目																			◎積替・保管有	備考
No	都道府県及び政令都市	積替保管	許可取得年月日及び有効期限	優良性判断に係る評価基準又は優良認定	許可番号	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラスコンクリート陶磁器くず	鉱さい	がれき類	動物の糞尿	動物の死体	ばいじん	政令第13号廃棄物	積み替え保管施設の所在地及び面積、許可の条件等
1	栃木県	無	平成21年 8月21日 平成28年 8月20日	優良確認	00900004045	○	○	○	○	○	○							○	○					○		
2	茨城県	無	平成23年10月 3日 平成28年9月27日		00801004045		○	○	○	○	○								○		○					汚泥については水密車両又は容器を用いて運搬すること。
3	千葉県	無	平成21年 9月30日 平成28年 9月29日	優良確認	01200004045	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○			○		
4	相模原市	有	平成21年11月 1日 平成28年10月31日	優良確認	09810004045	◎	◎	○	○	○	◎	○	○	○	◎		○	◎	◎	○	◎			○		神奈川県相模原市田名2249.2250-1.2250-3 保管・積替え面積1,517.29㎡ 環境保全対策は、適切に行うこと
5	神奈川県	無	平成21年11月 1日 平成28年10月31日	優良確認	01402004045	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○			○		
6	静岡市	無	平成23年 1月27日 平成30年 1月26日	優良確認	06201004045		○	○	○	○	○	○	○					○	○		○					
7	埼玉県	無	平成23年 9月22日 平成30年 8月15日	優良認定	01101004045	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○			○	○	
8	八王子市	有	平成26年 5月15日 平成33年 5月14日	優良認定 産廃ｴｷｽﾊﾟｰﾄ	10910004045	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○		○	◎	◎	○	○			○		東京都八王子市横川町1076番地 保管・積替え面積2,548.91㎡ 作業時間午前8時～午後5時
9	東京都	有	平成26年 5月15日 平成33年 5月14日	優良認定 産廃ｴｷｽﾊﾟｰﾄ	1310004045	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○		○	◎	◎	○	○			○		東京都八王子市横川町1076番地 保管・積替え面積2,548.91㎡ 作業時間午前8時～午後5時
10	山梨県	無	平成26年 7月 1日 平成33年 6月30日	優良認定	01900004045	○	○	○	○	○	○	○	○		○			○	○		○					
11	仙台市	無	平成26年12月 6日 平成33年12月 5日	優良認定	05402004045	○	○				○	○	○					○	○	○	○			○		
12	静岡県	無	平成27年 2月23日 平成34年 2月22日	優良認定	02201004045		○	○	○	○	○							○	○							
13	長野県	無	平成27年 8月25日 平成34年 8月24日	優良確認	2009004045	○	○				○							○	○		○					
14	群馬県	無	平成27年10月18日 平成34年10月17日	優良認定	01000004045	○	○	○	○	○	○						○	○	○	○				○		
15	新潟県	無	平成28年 4月15日 平成35年 4月14日	優良認定	01509004045		○	○	○	○	○							○	○		○					

特別管理産業廃棄物収集運搬業						許可品目									備考
No	都道府県及び政令都市	積替保管	許可取得年月日及び有効期限	優良性判断に係る評価基準又は優良認定	許可番号	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アル	鉱さい	ばいじん	感染性	取扱い可能な金属等を含む特定有害産業廃棄物	
1	千葉県	無	平成22年12月11日 平成29年12月10日	優良確認	01250004045		特定有害		○ 特定有害	○ 特定有害			○	汚泥、廃酸、廃アルカリ:カドミウム又はその化合物、鉛又はその化合物、六価クロム化合物、砒素又はその化合物 廃アルカリ:シアン化合物	
2	東京都	無	平成27年 7月 9日 平成34年 7月 8日	優良認定	1356004045			特定有害	特定有害				○	廃酸:水銀又はその化合物、カドミウム又はその化合物、鉛又はその化合物、六価クロム化合物、砒素又はその化合物 セレン又はその化合物　　廃油:ジクロロメタン	
3	山梨県	無	平成27年 8月 9日 平成34年 8月 8日	優良認定	01950004045			特定有害					○	廃油:ジクロロメタン	
4	神奈川県	無	平成27年 8月19日 平成34年 7月14日	優良認定	01452004045	特定有害	特定有害	○ 特定有害	○ 特定有害	○ 特定有害	特定有害	特定有害	○	廃石綿等、及び全ての特定有害産業廃棄物(ジオキサン、PCBを除く)	
5	埼玉県	無	平成27年10月 1日 平成34年 9月15日	優良認定	01152004045		特定有害		○ 特定有害	○ 特定有害			○	汚泥、廃酸、廃アルカリ:カドミウム又はその化合物、鉛又はその化合物、六価クロム化合物、砒素又はその化合物 廃アルカリ:シアン化合物	

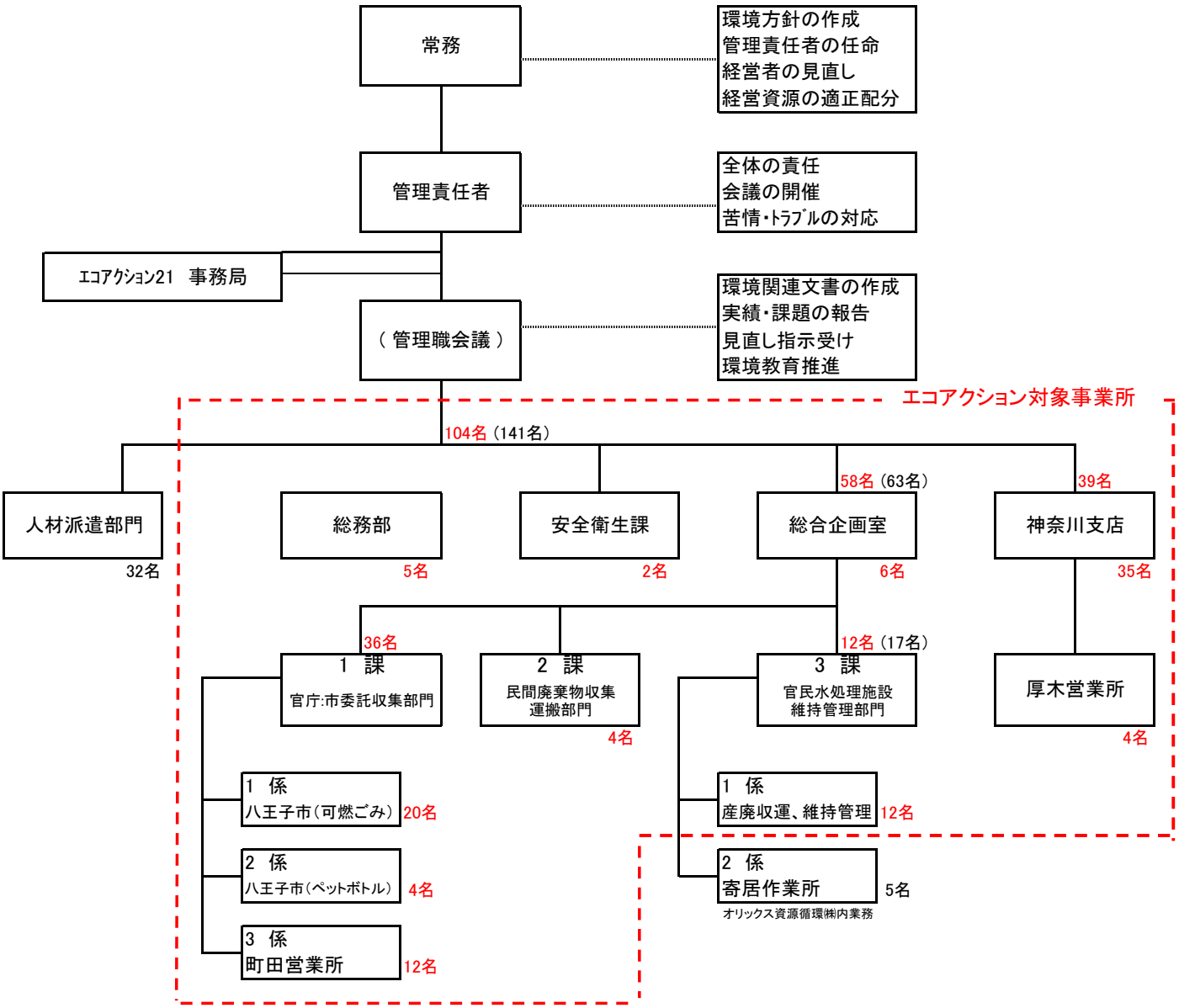
【保有許可一覧】

株式会社環境システムサービス

一般廃棄物収集運搬業						許 可 品 目									
No	都道府県及び政令都市	積替保管	許可取得年月日及び有効期限		許可番号	一般ごみ	し尿	浄化槽汚泥						搬入先、条件など	
1	八王子市	有（家電のみ）	平成28年 4月 1日 平成30年 3月31日		21	事業系 家庭系	○	○						八王子市処理施設 多摩ニュータウン環境組合 八王子市一般廃棄物処分業許可業者処理施設	
2	日野市	無	平成28年 4月 1日 平成30年 3月31日		8	事業系	○	○						日野市クリーンセンター 株式会社エンザ	
3	厚木市	無	平成28年 4月 1日 平成30年 3月31日		137	○	○	○							
4	相模原市	無	平成28年 3月 7日 平成30年 3月 6日		A0088	○								相模原市北清掃工場 津久井クリーンセンター	
5	海老名市	無	平成28年 4月 1日 平成30年 3月31日		47	○									
6	吾妻東部衛生組合	無	平成28年 4月 1日 平成30年 3月31日		13	動物園より発生するふん尿、寝わら、食べ残しなど								株式会社エンザ群馬工場への搬入に限る	

実 施 体 制 ・ エコアクション21組織図

作成日	2016.2.1



各部門の責任者の職務
- ・部門内の活動の徹底
- ・部門内の活動の報告
- ・部門内の意見の集約

エコアクション対象人数

役員	1
本社	52
神奈川支店	35
町田営業所	12
厚木営業所	4
エコアクション対象合計	104
派遣・請負部門	37
全社計	141

保有車輌台数 （本社・神奈川支店・町田営業所・厚木営業所）

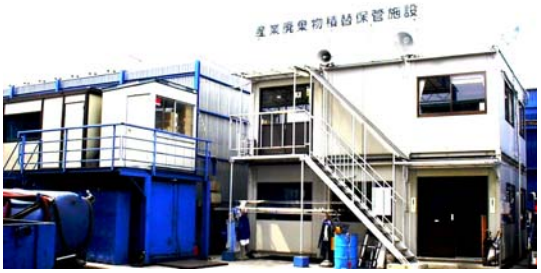
作成日	2016.2.1
作成者	佐藤

	車種	トン数	台数	トン数	台数	トン数	台数	トン数	台数	計	前年6月比
保有車輌	パック・プレス車	2	24	3	29	4	6	6超	3	62	+11
	アーム車	2	1	4	5	5～8	2	10	4	12	−2
	ダンプ車	2	1					10超	4	5	+1
	吸引車			3	2	4	2	10	8	12	0
	洗浄車	2	1	3	1	4	2			4	0
	給水車			3	1					1	0
	平ボディ車	1	2	2	3	4	3	14	1	9	+1
	箱車	1	1					13	1	2	
	TVカメラ車		2							2	+1
	軽バン・軽トラ		13							13	−1
	営業車		8							8	0
									合計	130	

			前年6月比			小計	前年6月比
本社	CNG車	19	−3	プレス・パック	46	86	+9
	LPG 車	1	0	その他	40		
神奈川支店	CNG車	1	−1	プレス・パック	6	29	+1
	LPG 車	1	0	その他	23		
町田営業所	CNG車	0	0	プレス・パック	9	10	0
	LPG 車	0	0	その他	1		
厚木営業所	CNG車	2	0	プレス・パック	1	4	0
	LPG 車	0	0	その他	3		

本社事務所

神奈川支店



10t 超強力吸引車

10t 強力吸引車

10t 吸引車

3t 強力吸引車

10t 脱着式ｺﾝﾃﾅ車

5.5t 脱着式ｺﾝﾃﾅ車 クラムシェル付

下水道巡回点検車輌

下水道テレビカメラ車

4t 高圧洗浄車

4t プレスパッカー車

3t パッカー車

2t パッカー車

特別管理廃棄物専用保冷車

家電リサイクル収集車

4t 脱着式コンテナ車

環　境　方　針

当社は、事業活動を通じ、廃棄物の分別資源化に努めるとともに、

地域社会との調和・共生に配慮しながら発展することを目指す。

１．　環境経営システムを構築・運用し、継続的な環境負荷の低減に努める。

２．　持続可能な環境目標を定め、環境保全活動を行うことにより、省資源・省エネルギーに貢献する。

① 廃棄物の分別の徹底による再資源化率の推進

② 上水使用量の削減

③ CO_2排出量の削減

④ グリーン購入の活用

⑤ 受託した産業廃棄物の収集運搬における環境配慮

３．　環境に関連する法規制を遵守するとともに、環境政策や業界基準を尊重する。

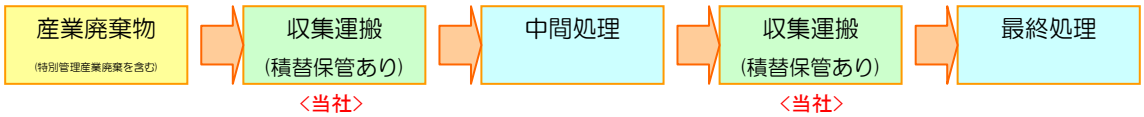
平成24年12月28日

株式会社　環境システムサービス

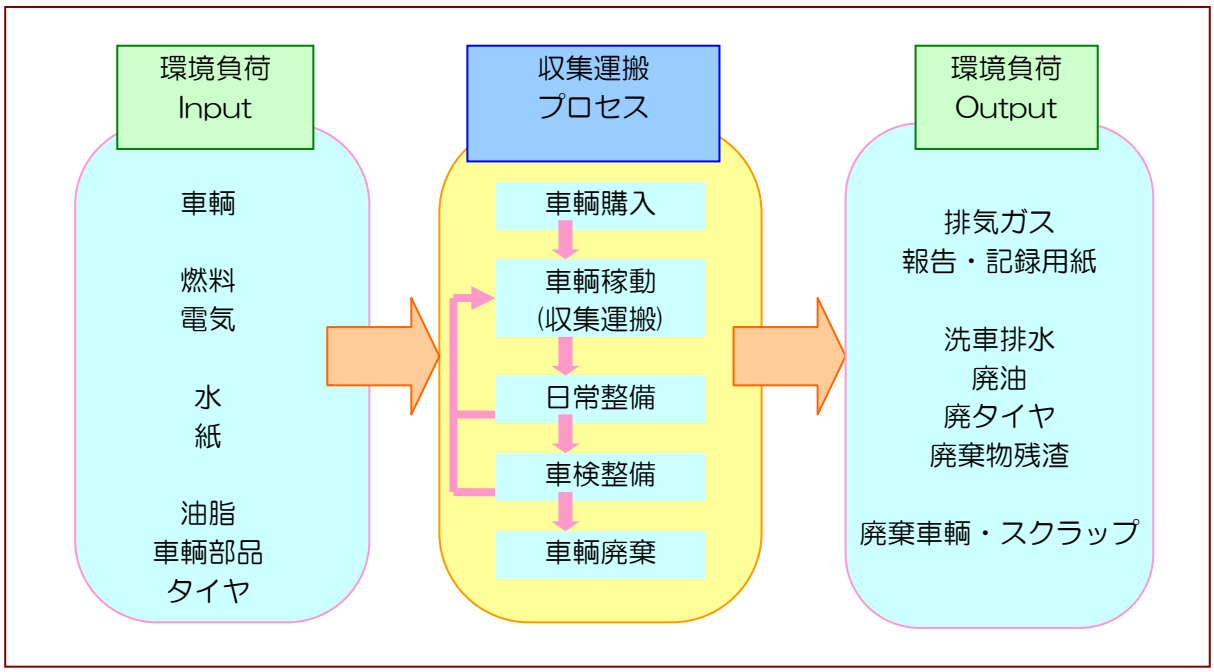
常務取締役　加　藤　慎　次　郎

2016/2/1
作成：佐藤

当社が考える収集運搬業の LCA（ライフサイクルアセスメント）



上図のフローで処理される産業廃棄物の収集運搬を主な業とする当社は、収集運搬業が車輌稼動によりサービスを提供することに焦点を当て、車輌による収集運搬の各プロセス（ライフサイクル）における環境負荷を次のように想定しました。



環境負荷軽減に対する取組み方針とその状況

収集運搬の各プロセスにおいて環境に負荷をかける Input アイテムの消費を抑制し、Output アイテムを削減するための取組み方針を次のように設定しました。

第1段階	① 燃料・エネルギー	ディーゼル車から CNG 車への買替え、エコドライブの実践、GPS 管理システム等による消費量・排ガス量の削減
	② 上水と消耗品（紙）	雨水・節約意識向上による消費量・廃棄量の削減
	③ リサイクル（油脂、タイヤ）	廃油・タイヤのリサイクルによる廃棄量の削減
第2段階	④ 車輌	CNG、LPG、ディーゼル、HV（ハイブリッド）の各車について耐久性、運搬力、排ガス量、スクラップ量等を比較し、買替えや継続使用の判断に活用
	⑤ 収集運搬時の環境配慮	排出者の排出状況を把握した適切な収集運搬計画の立案、廃棄物の種類・量等により適切な収集運搬機材の選択

上記の方針に基づき、2005 年度から第 1 段階の取組みを開始し、次第に成果で出てきましたので、2013 年度以降、第 2 段階にも着手しております。

環 境 目 標 （全社）

作成日	2016.2.1
作成者	佐藤

No.	環境方針 （項目を簡略に記述）	環境目標		基準値 (2007年)	年度目標		
					2016年度	2017年度	2018年度
1	CO_2排出量の削減	全体 CO_2の排出量 kg-CO_2		1,394,000	対基準年9%削減	対基準年10%削減	対基準年11%削減
					1,280,528	1,266,525	1,261,245
		内訳	化石燃料 kg-CO_2	1,354,000	1,232,100	1,218,600	1,213,860
			購入電力 kg-CO_2	40,000	48,428	47,925	47,385
					東電2014年度調整係数(0.505)で仮算出		
		化石燃料（kg- CO_2）の削減 排出量 ／t		24.7	対基準年9%削減	対基準年10%削減	対基準年11%削減
					22.5	22.2	22.2
		燃料消費量	CNG m^3	76,297	94,000	94,000	94,000
			LP m^3	16,677	12,000	12,000	12,000
			ｶﾞｿﾘﾝ ℓ	41,396	44,600	44,600	44,600
			軽油 ℓ	367,378	323,000	317,400	310,026
		電力消費量 kWh		105,500	対基準年9%削減	対基準年10%削減	対基準年11%削減
					95,900	94,900	93,830
2	上水使用量の削減	節水、効率的利用 m^3		2,333	対基準年9%削減	対基準年10%削減	対基準年11%削減
					2,118	2,099	2,068
		参考 雨水・地下水 m^3		1,450	1,330	1,320	1,310
3	廃棄物の 分別の徹底による 再資源化率の推進	紙の使用量の抑制 (ｺﾋﾟｰ枚数)		97,000	対基準年9%削減	対基準年10%削減	対基準年11%削減
					88,200	87,300	86,300
		紙・金属缶・ｶﾞﾗｽびん・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸなどの分別回収 社員から出た廃棄物等t		10.7	対基準年9%削減	対基準年10%削減	対基準年11%削減
					9.58	9.57	9.45

化石燃料の目標については、化石燃料（CO_2）÷ 受託した一般廃棄物 及び 産業廃棄物の処理量（t）にて算出いたします。
（なお、受託した廃棄物の処理量 及び 経済動向などにより、化石燃料の消費量が大きく左右されます。）

収集運搬量	54,783

環　境　目　標（全社）

作成日	2016.2.1
作成者	佐藤

株式会社環境システムサービス

No.	環境方針 （項目を簡略に記述）	環境目標	基準値 （2011年）	年度目標		
				2016年度	2017年度	2018年度
4	グリーン購入の活用	グリーン購入 （購入金額比率）	50%	55%	56%	57%
		再生タイヤ購入 （購入本数比率）	15%	20%	21%	22%
		省エネルギー基準適合製品の購入	優先購入	優先購入	優先購入	優先購入
5	受託した産業廃棄物の収集運搬における環境配慮	エコドライブの実践	5.5点	6.5点	6.7点	6.9点
		タイヤの空気圧を適正に保つ点検を定期的に実施	6.5点	7.0点	7.1点	7.2点
		騒音や排ガスを抑えるための適正な車輌整備の実施	5.5点	6.5点	6.7点	6.9点
		効率的な車輌運行計画	6.0点	6.5点	6.6点	6.7点
		排ガスや燃費を考慮した車輌購入	優先購入	優先購入	優先購入	優先購入

2015年 （年 間） 実績表

日付	2016,2,1
作成者	佐藤

全社

No.	環境方針（項目を簡略に記述）	環境目標		2013年実績	2014年実績	2015年目標	2015年実績	評価	コメント
1	CO_2排出量の削減	全体 CO_2の排出量 kg-CO_2		1,369,514	1,302,837	対基準年8%削減 1,294,533	1,459,280	－	
		内訳	化石燃料 kg-CO_2	1,327,159	1,262,930	1,245,600	1,421,546	－	目標比 14%
			購入電力 kg-CO_2	42,355 東電2013年度調整係数:0.531	39,907 東電2014年度調整係数:0.505	48,933 東電2014年度調整係数:0.505で仮算出	37,734	－	目標比 ▲ 22%
		化石燃料（CO_2）の削減 排出量 ／t		15.5	15.0	対基準年8%削減 22.7	18.7	○	トン当たりの排出量は目標を達成
		燃料消費量	CNG m^3	119,011	104,567	94,000	111,856	－	
			LP m^3	12,419	9,362	12,000	30,810		
			ｶﾞｿﾘﾝ ℓ	36,603	38,164	44,600	40,673		
			軽油 ℓ	348,310	341,298	328,200	342,876		
		電力消費量 kWh		79,765	79,025	対基準年8%削減 96,900	74,725	○	エアコン更新やLED照明への取替えにより削減
2	上水使用量の削減	節水、効率的利用 m^3		1,549	1,776	対基準年8%削減 2,139	1,730	○	地下水や雨水の活用により使用量を抑制
		参考 雨水・地下水 m^3		1,151	1,742	1,340	1,831		
3	廃棄物分別の徹底による再資源化率の推進	紙の使用量の抑制（ｺﾋﾟｰ枚数）		51,395	55,551	対基準年8%削減 89,200	53,183	○	受信FAXの紙出力を抑制により目標を達成した
		紙・金属缶・ｶﾞﾗｽびん・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸなどの分別回収 社員から出たごみ等 t		6.4	22.0	対基準年8%削減 9.79	4.9	○	業務に関係のない不要ゴミの持ち込み禁止により削減

化石燃料の目標については、化石燃料（CO_2）÷ 受託した一般廃棄物 及び 産業廃棄物の処理量（t）にて算出いたします。
（なお、受託した廃棄物の処理量 及び 経済動向などにより、化石燃料の消費量が大きく左右されます。）

収集運搬量	85,629	84,066	54,783	75,983	t

2015年 （年 間） 実績表

株式会社環境システムサービス

日付	2016.2.1
作成者	佐藤

全社

No.	環境方針（項目を簡略に記述）	環境目標	2013年実績	2014年実績	2015年目標	2015年実績	評価	コメント
4	グリーン購入の活用	グリーン購入（購入金額比率）	53%	69%	54%	62%	○	リサイクルトナーの購入が貢献
		再生タイヤ購入（購入本数比率）	17%	18%	19%	19%	○	適合する後輪タイヤは再生タイヤを優先的に購入
		省エネルギー基準適合製品の購入	エアコン3台 プリンタ1台	プリンタ2台	優先購入	本社照明をLED エアコン1台 プリンタ2台	○	旧型を省電力型に交換
5	受託した産業廃棄物の収集運搬における環境配慮	エコドライブの実践	5.9点	6.1点	6.3点	6.3点	○	燃費向上の意識付けを行なったことにより向上
		タイヤの空気圧を適正に保つ点検を定期的に実施	7.0点	7.0点	6.9点	7.0点	○	日常点検が身についている
		騒音や排ガスを抑えるための適正な車輌整備の実施	5.9点	6.1点	6.3点	6.1点	×	土曜日も収集がある事業所がネックとなって目標未達成
		効率的な車輌運行計画	6.3点	6.3点	6.4点	6.5点	○	事業所間で協力して配車計画を立てるようになってきた
		排ガスや燃費を考慮した車輌購入	CNG車 2台	CNG車 2台	優先購入	CNG車 購入なし	×	充填スタンド減少により、CNG車を導入することは難しくなってきた

環境活動の取組内容と結果の評価

No	項　　目	目　　標	実　　施　　方　　法	評価
1	CO_2 排出量の削減	運搬量に対する化石燃料の使用削減	燃費運動・エコドライブ	○
			事故内容分析、再発防止教育	○
			車輌整備	○
			急発進・急ブレーキをかけない（危険予知など）	○
		電力消費量の削減	空調適温化（冷房26℃、暖房22℃）、フィルタ清掃	○
			必要な区域・時間帯を限定	○
			照明の適正化、蛍光管カバー清掃	○
			すだれ・扇風機の活用	○
2	上水使用量の削減	節水、水の効率的利用	洗車場の整備・清掃	○
			洗車手順の遵守	○
			洗濯の使用削減	○
			雨水・地下水の活用	○
3	廃棄物の分別の徹底による再資源化率の推進	紙使用量の抑制	会議用資料・事務書類の簡素化	○
			コピー調査票による実態把握	○
			使用済み用紙の裏紙の利用	○
			電子メディア等の利用によるペーパーレス化	○
		紙・缶・ビン・プラスチックの分別回収	分別・リサイクル	○
			シュレッダー使用を機密文書に限定	○
			プリンタトナーのリサイクル	○
4	グリーン購入の活用	グリーン商品の優先購入	グリーン商品の優先購入（事務用品）	○
			再生タイヤの優先購入	○
			省エネルギー基準適合製品の優先購入	○
5	受託した産業廃棄物の収集運搬における環境配慮	環境負荷の軽減	エコドライブの実践	○
			タイヤの空気圧を適正に保つ点検を定期的に実施	○
			騒音や排ガス抑制のための適正な車輌整備実施	×
			効率的な車輌運行計画	○
			排ガスや燃費を考慮した車輌購入	×

環境活動の次年度の取組み内容

当年度は二つ項目を除き、目標を達成しておりますが、次年度は全項目について目標を達成するよう従来以上に取組みを強化してまいります。

具体的には、環境目標に掲げた各項目について更なる社内啓発活動を実施し、各項目の進捗状況を細かく把握することにより、個々の取組みを推進していきます。

なお、「内部監査」につきましては、2年目の実施となりますので、システムのより有効運用のために活用していきたいと考えております。

また、認証取得から10年を迎え、認証取得当時とは経営環境も異なってきており、現在の環境目標も概ね達成できている傾向にあることから、環境目標を見直し、現状を踏まえた目標を再設定する準備を進め、環境管理システムの完成度を高め、環境負荷の低減につなげていきたいと考えております。

環境関連法規等の遵守状況

当社に適用される環境関連法規は下記の通りであり、確認の結果、違反はありませんでした。
また、係争している訴訟及び近隣からの苦情はありません。

No.	関連法規等	評価
1	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	遵守
2	家電リサイクル法（特定家庭用機器再商品化法）	遵守
3	自動車NOx．PM法	遵守
4	環境確保条例（都）	遵守
5	都廃棄物条例	遵守
6	産業廃棄物業者の実績報告に係る要綱	遵守
7	自動車リサイクル法	遵守
8	貨物自動車運送事業輸送安全規則	遵守
9	貨物自動車運送事業法	遵守
10	道路運送車両法	遵守
11	道路法	遵守
12	道路交通法	遵守
13	道路車両管理法	遵守
14	浄化槽法	遵守
15	悪臭防止法	遵守
16	消防法	遵守
17	高圧ガス保安法	遵守
18	フロン排出抑制法	遵守

経営者による全体の評価と見直し

経営者	管理責任者
常務取締役 加藤　慎次郎	次長 浅野

1　見直しのための情報

	見直し年月日	2016.2.4

評価・課題

1　環境経営システムの完成度

2015年6月の更新審査における指摘事項に対し、
B判定項目は全て対応済みで改善されている。
A判定項目についても対応済みか対応の目処が立っている。
以上のことから、システム全体の完成度は昨年に比べさらに向上していると判断する。

2　環境目標の達成度

	項目	単位	目標	実績	コメント	目標比
①	運搬量に対する化石燃料	kg-CO_2/t	22.7	18.7	運搬量に対する排出量は継続して低減	82%
②	電気	kWh	96,900	74,725	目標以上の節電が継続	77%
③	上水	㎥	2,139	1,730	雨水地下水の有効活用で低減	80%
④	コピー	枚	89,200	53,183	目標以上の低減が継続	59%
⑤	自社廃棄物	t	9.8	4.9	目標以上の減量を達成	50%
⑥	グリーン購入 再生タイヤ購入	%	54% 19%	62% 19%	グリーン購入比率が上昇	124% 100%
⑦	収集運搬時の環境配慮	（各項目ごとに目標点を設定）			各項目とも目標達成している	－

3　取組状況

	項目	コメント
①	運搬量に対する化石燃料	燃費管理の強化やエコドライブの実践により、CO_2排出効率の低減が継続している
②	電気	エアコン更新、LED照明導入の効果が確認できた
③	上水	洗車頻度が上がっている割には雨水・地下水の活用により使用量が抑えられている
④	コピー	受信FAXをパソコンで閲覧、文書保存も電子データ化するなどの意識改革が定着している
⑤	自社廃棄物	前年に引続き、業務に不要な私物持込み禁止による排出量が抑えられている
⑥	グリーン購入 再生タイヤ購入	リサイクル品の購入により、購入比率が大幅に向上している
⑦	収集運搬時の環境配慮	日常行動や意識が定着してきており、その効果が確認できた

4　法規制の遵守

当社に適用される主な環境法規は、廃棄物関係・労働衛生関係であり、法律・条令に基づき適切に対応しており、違反はない。

5　外部からの苦情・要望

苦情が2件（騒音振動、集積所破損）発生した。直ちに現場で事実確認するなどの初期対応を行ない、その後、社員教育や再発防止策を徹底したことで、市民のクレームもおさまり、解決している。

6　予防・是正措置

前年の是正処置（内部監査）の結果を確認した。監査方法や内容にやや不足はあるものの、初回としては成果ありと判断するが、次年度以降は内部監査によってシステムがより有効に機能するよう取組みを強化すること。

2　見直し項目

① 緊急事態の実技訓練が未実施	① 緊急事態対応手順で定められた実技訓練が実施されていないので、早急に実施すること。 ※是正措置報告書参照
② 環境目標の見直し	② エコアクション21認証取得から10年になり、当社を取巻く経営環境や事業規模も変わってきたので、2016年の実績を基準として2017年以降の目標値を見直す準備を進めること。

3　見直し結果に対する評価

① 緊急事態の実技訓練が未実施	専門家による普通救命訓練の実施を「緊急事態訓練記録」により確認した。